

【2025年4月11日 プレスリリース】

国際農業経営学会をアルゼンチンで開催  
2026年2月22日（日）～27日（金）



国際農業経営学会（International Farm Management Association）は、第25回国際農業経営学会（IFMA25）を2026年2月22日（日）から27日（金）までアルゼンチンのロサリオで開催することをお知らせします。この権威ある世界的なイベントは、農業経営者、研究者、教育者、農業普及員、政策立案者、その他の農業界リーダーが一堂に会し、農業経営における最新の進歩について議論し、農業の強靱で豊かな持続可能な未来の形成に向けた意見交換を行うものです。

パラナ川沿いに位置するロサリオは、アルゼンチン第3の都市であり、農業と産業の中心地として活気に満ちています。アルゼンチンのパンパ地域の一部にあり、世界で最も肥沃で生産性の高い農業地帯のひとつであるロサリオは、世界の食料生産において極めて重要な役割を果たしており、IFMA25にとって理想的な舞台といえます。

「農業の未来に力を与える（Empowering the Future of Agriculture）」をテーマに、大会では持続可能な農業のための革新的な解決方法、農企業の回復力、生産性・効率性の向上をもたらす技術の役割など、について考えます。出席者は、アルゼンチンおよび世界各地の農業マネジメントについて貴重な情報が得られるとともに、世界的な課題と地域的な課題についての議論に参加することができます。

この大会は、アウストラル大学のロサリオ・キャンパスとの協力のもと開催されます。2025年、アウストラル大学はタイムズ・ハイヤー・エデュケーション誌によってアルゼンチン第1位の大学にランクされています。

大会中、専門家によるプレゼンテーション、課題別シンポジウム、地元の農場や農業・食品ビジネスの視察など、多様な教育プログラムが予定されており、アルゼンチンの素晴らしい農業界について直接触れることができます。また、次世代農業リーダーの参画と啓発を目的とした次世代育成プログラムや、同伴者を伴う参加者のための同伴者プログラムとともに、仲間づくりのための交流プログラムも準備されています。さらに、大会前後の期間には、現地視察ツアーも予定されています。

最新の情報は、国際農業経営学会（IFMA）のHP：[www.ifma.network](http://www.ifma.network) および SNS：@IFMAOnline #IFMA25 をご確認ください。

文責：IFMA Council Member 木下 幸雄（東京都市大学）